

## 大学院入試問題「栄養教育論」の出題意図

問題1. ヘルスリテラシーの概念を正確に理解し、その低さが健康格差や受診行動に及ぼす影響を多角的に捉えているかどうかを確認する問題です。その上で、行政等の地域保健の視点から、集団の特性に応じた栄養教育のあり方を論理的に構築できるかを評価します。単なる知識に留まらない、専門的な思考力と実践力を測ることがねらいです。

問題2. 行動変容モデルのうち、「無関心期」における心理的特性と、強引な介入が逆効果となる理由への理解について確認する問題です。その上で、対象者の気づきや考え方の変容を促すための働きかけを、自身の経験に基づき専門的見地から具体的に提案できるかを評価します。理論を実務に応用する論理性と実践力を測るのがねらいです。

問題3. ストレスへの対処法である「問題焦点型」と「情動焦点型」の特徴を正しく理解し、状況に応じた適切な使い分けが健康に及ぼす影響を把握しているかを確認する問題です。ストレスへの向き合い方として、直接的な問題解決と情動のコントロールが健康維持に果たす役割や、不適切な対処が習慣化するリスクについて、専門的知見から論理的に説明できる力を評価するのがねらいです。